

製品安全データシート

会 社：株式会社ベル・サイエンス
住 所：埼玉県入間市小谷田 3-2-5
担 当 部 門：センサ営業技術部
平野良枝
電 話 番 号：04-2960-6686
F A X：04-2960-6687
緊急連絡先：同 上

製品名：ORP 標準粉末(キンヒドロン法)

物質の特定

単一製品・混合物の区別： 混合物

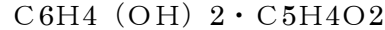
化 学 名： フタル酸水素カリウム

キンヒドロン ヒドロキノンとP-ベンゾキノンの(1:1の分子化合物である。)

成分及び含有量 フタル酸水素カリウム 99.5%以上(特級)

キンヒドロン 48~52%(P-ベンゾキノンとして)

化学式又は構造式： $\text{KHC}_8\text{H}_4\text{O}_4$



官報公示整理番号 化審法：フタル酸水素カリウム 3-1272, 3-1342

キンヒドロン 設定されていない

安衛法：フタル酸水素カリウム -

キンヒドロン 設定されていない

CAS No.: フタル酸水素カリウム 877-24-7

キンヒドロン 106-34-3

国連分類： 国連の分類の定義上危険有害物に指定しない。

危険有害性の分類

分類の名称： 分類の定義上危険有害物に該当しない。

危険性： 可燃性がある。

有害性： 皮膚に対して刺激性がある。粘膜などを刺激することが有る。

蒸気は眼及び気道を刺激する。

環境影響： データなし

応急措置

目に入った場合： 直ちに流水で十分に洗い、速やかに医師の処置を受ける。

皮膚に付いた場合： 直ちに流水で十分に洗い、必要に応じて医師の処置を受ける。

吸入した場合： 濃厚な蒸気を吸入したら、新鮮な空気の場合に移す、速やかに

医師の処置を受けさせる。

飲み込んだ場合： 薄い食塩水を多量に飲ませ、吐かせると共に速やかに医師の処置を受けさせる。

火災時の措置

消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消化剤： 大量注水、水噴霧、炭酸ガス、粉末・泡消化剤、乾燥砂・粉末消火器

漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロープを張る等して人の立ち入りを禁止する。

作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

飛散したものは空容器に出来るだけ回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

取扱い及び保管上の注意

取扱い： 皮膚等につけたり、蒸気を吸入しないように、適切な保護具を着用する。

可燃性なので、火気に注意する。

保管： 密栓して冷暗所に保管する。

酸化剤とは隔離して保管する。

暴露防止措置

管理濃度： 設定されていない

許容濃度： 日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

設備対策： 粉塵の発生するような作業場所では局所排気装置を設ける。

保護具： 保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

物理／化学的性質

外観など： 白色結晶、暗黄緑色結晶、無臭

沸点： 分解

融点： 295—300℃

揮発性： 無

比重： 1.64(20℃)

溶解度 水： 0.4% (20℃)

その他： エタノールに難溶

危険性情報 (安定性・反応性)

引火点： データなし

爆発限界： データなし

発火点： データなし

粉じん 爆発性： 粉末または顆粒で空気と混合すると粉じん爆発の可能性が有る。

安定性・反応性： 日光により変色することがある。

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

刺激性（皮膚・眼）： 皮膚・眼などに対して刺激刺激性が有る。

感作性： 長期間の皮膚との接触は皮膚炎を起こすことが有る。

急性毒性（50%致死量等を含む）： 運動能力が活発となり、外界刺激に対して過敏性を増す。反射は亢進し、呼吸困難とチアノーゼを見る。間代性痙攣に次いで、筋は大きな刺激を与えても応じなくなる。5-12gの誤飲によって死亡することが有る。（ヒドロキノンとして）

経口摂取すると喉、胃を刺激する。

ラット 経口 LD50 = 7.9 g/kg（フタル酸として）

ラット 経口 LD50 = 225 mg/kg

亜急性毒性： 溶血性黄疸、貧血、低血糖症、色素消失と共に全身の衰弱をきたす。

慢性毒性： データなし

がん原性： データなし

変異原性（微生物・染色体異常）： データなし

生殖毒性： データなし

催奇形性： データなし

環境影響情報

分解性： 分解性が良好と判断される物質である。（ヒドロキノンとして）

魚毒性： 水生生物に有毒で、金魚試験で LC0 0.1 mg/l

LC50 0.15/0.16 mg/l

LC100 0.2/0.25 mg/l

その他： log Pow： 0.59

廃棄上の注意

水に溶かしてアルカリで中和した後、大量の水と共に下水に流す。多量の場合はエタノール等の可燃性溶剤と混合して焼却炉で焼却処理をする。

輸送上の注意

国連分類： 分類基準に該当しない。

国内規制： 規制なし。

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れの無い事を確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

適用法令

化学物質管理促進法: 非該当

毒物および劇物取締法: 非該当

労働安全衛生法: 非該当

その他の情報

引用文献: 化学大辞典 共立出版社(1963)

14303 の化学商品、化学工業日報社(2003)

関東化学株式会社 製品安全データシート

この製品安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。 又、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。 尚、注意事項は通常の実用を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。